

死亡事故が

多発しています



昨年の大館市内で起こった交通事故件数は、一昨年をわずかに下回ったものの、死者数は大きく上回りました。しかも冬期間に多発しています。

冬期間は道路の凍結や吹雪による視界不良などにより、運転には細心の注意が必要です。雪の降り始めのころは雪に不慣れなことから事故が起こります。しかし、今の時期は、雪道に対する慣れによる油断が事故につながります。

この先もまだまだ降雪が続きます。油断せず、再度気を引き締め、安全運転に心掛けてください。

冬期間に多い死亡事故

大館市での交通事故の発生件数は、ここ数年増加の傾向にあります。また、昨年の月別の交通事故発生件数、死者数（下図）を見ると、死亡事故は、冬の期間（十二月～三月）に集中しています。

冬期間は夏と違い、気温、日射量、交通量などの変化により路面が時々刻々と変化をしています。冬場にいつもと同じような感覚で運転していたのでは事故につながります。路面の状態を的確に判断し、事故のないように心掛けましょう。

路面の状態をチェック

雪や氷の上は滑って当たり前です。どんなタイヤをはいていたって、夏道と同じように走れるはずがありません。冬道を安全に走行するには、滑りやすい場所、路面状況をチェックすることが大切です。その場所の滑りやすさは刻々と変化し、決して一様ではありません。前後に車がいらないときなどは、試しにブレーキを踏んでみるのもよいでしょう。

車を確実に止めるには

車を早く止めようと、夏道と同じ感覚でブレーキを一度に強く踏

んだのでは、車輪がロックされ、スリップしてしまいます。冬道でブレーキをかけるときには、車輪をロックさせないように、ブレーキの踏みしろの半分ぐらいで踏みとどめ、タイヤを最後まで転がして制動するようにしましょう。

